



2019年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月11日

上場会社名 株式会社 カワサキ

上場取引所 東

コード番号 3045 URL <https://www.kawasaki-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部长 (氏名) 堀田 義行

TEL 072-439-8011

四半期報告書提出予定日 2019年1月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第1四半期の連結業績(2018年9月1日～2018年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第1四半期	520	0.8	108	52.4	107	48.5	35	26.4
2018年8月期第1四半期	516	3.6	71	6.3	72	20.6	47	17.7

(注) 包括利益 2019年8月期第1四半期 35百万円 (26.4%) 2018年8月期第1四半期 47百万円 (17.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第1四半期	16.35	
2018年8月期第1四半期	22.22	

(注) 当社は2018年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第1四半期	7,038	3,925	55.8
2018年8月期	6,966	3,917	56.2

(参考) 自己資本 2019年8月期第1四半期 3,925百万円 2018年8月期 3,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期		25.00		12.50	
2019年8月期					
2019年8月期(予想)		12.50		12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は2018年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年8月期第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2018年8月期の期末配当については、株式分割後の金額を記載し、年間配当金合計金額は、単純に合算できないため、「-」と記載しております。

3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日～2019年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,078	6.5	194	78.0	194	76.3	115	66.0	53.96
通期	2,113	6.7	385	84.2	385	75.6	230	59.6	107.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年8月期1Q	2,901,000 株	2018年8月期	2,901,000 株
期末自己株式数	2019年8月期1Q	752,192 株	2018年8月期	752,192 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年8月期1Q	2,148,808 株	2018年8月期1Q	2,148,808 株

(注)当社は2018年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

①経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに景気が回復しており、企業収益及び雇用情勢は改善がみられ、個人消費も持ち直してきていますが、海外での経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等により、国内景気の先行きは不透明な状況が続いています。

このような経営環境下、当社グループの服飾事業におきましては、引続き利益体質の強化を図るため、不採算店舗からの撤退や一層のコストダウンの推進、更には販売在庫品目の整理等に取り組みました。賃貸・倉庫事業におきましては、前年度に取得した倉庫の稼働と2018年9月の台風により被災した倉庫の復旧作業に取り組みました。その結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は売上高520,592千円（前年同四半期連結累計期間比0.8%の増加）、営業利益108,245千円（前年同四半期連結累計期間比52.4%の増加）、経常利益は107,978千円（前年同四半期連結累計期間比48.5%の増加）となったものの、特別損失で2018年9月の台風により被災した倉庫の災害復旧費用として53,502千円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は35,138千円（前年同四半期連結累計期間比26.4%の減少）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(服飾事業)

当事業部門におきましては、引続き利益体質の強化を図るため、不採算店舗からの撤退や一層のコストダウンの推進、更には販売在庫品目の整理等に取り組みました。しかしながら、売上高は273,215千円（前年同四半期連結累計期間比15.5%の減少）、営業利益が7,533千円（前年同四半期連結累計期間比10.0%の減少）となりました。

(賃貸・倉庫事業)

当事業部門におきましては、前年度に取得した倉庫の稼働に取り組みました。その結果、売上高は247,377千円（前年同四半期連結累計期間比28.0%の増加）、営業利益は100,430千円（前年同四半期連結累計期間比61.0%の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて117,864千円(15.2%)増加し、893,722千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が159,425千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて46,551千円(0.8%)減少し、6,144,567千円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が52,192千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて115,652千円(6.9%)増加し、1,785,859千円となりました。この主な要因は、買掛金が10,619千円、未払法人税等が9,214千円、未払消費税等(その他)が17,560千円増加したことに加え、災害による損失を53,502千円計上したことにより未払金(その他)が59,513千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて52,642千円(3.8%)減少し、1,327,114千円となりました。この主な要因は、長期借入金が66,270千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて8,302千円(0.2%)増加し、3,925,316千円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上35,138千円、配当による減少26,860千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年10月12日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,072	242,498
受取手形及び売掛金	113,564	134,152
商品及び製品	401,543	450,860
原材料及び貯蔵品	59,370	54,899
その他	118,660	11,539
貸倒引当金	△353	△228
流動資産合計	775,858	893,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,573,247	2,521,055
土地	3,019,095	3,019,095
その他(純額)	300,082	296,125
有形固定資産合計	5,892,425	5,836,275
無形固定資産	47,219	44,683
投資その他の資産		
その他	251,474	263,608
投資その他の資産合計	251,474	263,608
固定資産合計	6,191,119	6,144,567
資産合計	6,966,977	7,038,290

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,210	15,829
短期借入金	1,200,000	1,200,000
未払費用	35,896	42,280
未払法人税等	27,305	36,519
賞与引当金	3,526	7,052
通貨スワップ契約等	73	-
その他	398,195	484,177
流動負債合計	1,670,206	1,785,859
固定負債		
長期借入金	750,520	684,250
役員退職慰労引当金	197,383	198,733
資産除去債務	218,899	219,176
その他	212,954	224,954
固定負債合計	1,379,756	1,327,114
負債合計	3,049,963	3,112,973
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,300	564,300
資本剰余金	468,338	468,338
利益剰余金	3,360,289	3,368,568
自己株式	△476,131	△476,131
株主資本合計	3,916,796	3,925,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217	241
その他の包括利益累計額合計	217	241
純資産合計	3,917,013	3,925,316
負債純資産合計	6,966,977	7,038,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2017年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)
売上高	516,674	520,592
売上原価	256,727	243,291
売上総利益	259,946	277,301
販売費及び一般管理費	188,934	169,056
営業利益	71,011	108,245
営業外収益		
為替差益	1,646	-
貸倒引当金戻入額	417	124
還付加算金	-	612
その他	251	166
営業外収益合計	2,315	904
営業外費用		
支払利息	597	954
為替差損	-	211
その他	7	5
営業外費用合計	605	1,171
経常利益	72,722	107,978
特別損失		
店舗閉鎖損失	894	-
災害による損失	-	53,502
特別損失合計	894	53,502
税金等調整前四半期純利益	71,827	54,475
法人税、住民税及び事業税	27,685	33,707
法人税等調整額	△3,597	△14,371
法人税等合計	24,088	19,336
四半期純利益	47,738	35,138
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,738	35,138

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)
四半期純利益	47,738	35,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	23
その他の包括利益合計	4	23
四半期包括利益	47,743	35,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,743	35,162
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2017年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	323,395	193,279	516,674	—	516,674
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	323,395	193,279	516,674	—	516,674
セグメント利益	8,368	62,362	70,731	280	71,011

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去280千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	273,215	247,377	520,592	—	520,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	273,215	247,377	520,592	—	520,592
セグメント利益	7,533	100,430	107,964	280	108,245

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去280千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。